

第2回 江東未来会議

(第2分科会：産業・生活分野)

次 第

日時:平成19年10月17日(水) 午後7時00分～9時00分

場所:江東区文化センター2階 旧区政PRコーナー

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
- 3 配付資料の概要について
- 4 ワークショップ
(テーマ:江東区のイメージと10年後の江東区の検討)
- 5 その他
- 6 閉会

(配付資料)

- 第1回江東未来会議 議事概要
- 基本構想の位置づけについて～基本構想とは?～
- 本日の進め方に関する資料
 - ・第2回ワークショップ進行表
 - ・グループ完成イメージ・記入例
- 第2分科会スケジュールの概要
- 江東区マップ

第1回 江東未来会議

第1部 全体会

議事概要

日時：平成19年9月26日（水） 19:00～20:30

場所：江東区教育センター1階大研修室

参加人数：131人

1. 区長あいさつ

現在、江東区は人口急増や南部地域の変貌、築地市場の豊洲への移転計画など大きな変化に直面しており、保育園や学校・教室の不足などさまざまな行政課題も生まれている。

基本構想策定にあたり、区民の声をしっかりと聞くことは重要であり、一人でも多くの方のご意見を聞くため、江東未来会議を開催することとなった。当初100人のご参加を予定していたが、208人の応募を頂き、最終的に150人の方にご参加いただくこととなった。本会議で皆さんからご意見をいただき、基本構想のベースとしていきたい。23区のなかでも、これだけ多くの方にご参加いただく基本構想はないと自負している。

皆さんの次の世代が江東区に住んでよかった、ずっと住み続けたいと思い、多くの方が住みたいと思う江東区にしたい。そのためにも活発なご議論をいただきたい。

2. 議事

- (1) 新江東区基本構想の策定について（政策経営部長より資料に基づき説明）
- (2) 江東未来会議について（企画課長より資料に基づき説明）
- (3) コーディネーター紹介
- (4) 事務局紹介
- (5) 江東未来会議の進め方について（事務局より資料に基づき説明）
- (6) 質疑応答

○参加者

- ・区報を見て、新基本構想は区と区民の協働により策定されると理解して江東未来会議へ申し込んだが、本会議における事業者の位置づけはどのようなものか。

○事務局

- ・新基本構想の策定支援にかかる事業者は、プロポーザル方式により区の考え方と一致する提案を行った事業者を選定した。分科会には、区が依頼したコーディネーターに出席していただき、討議の取りまとめをお願いする予定であり、本会議は区と区民の方々の協働と理解している。

○参加者

- ・参加する分科会の変更は可能か。

○事務局

- ・可能な限り応募者のご関心に添う形で分科会の参加者を決めさせていただいたが、予想を上回る 208 人のご応募を頂き、参加者数を当初の募集人員 100 人程度から 150 人とした。申込書にご記入いただいた応募の動機、関心のある分野を参考に選んだが、希望が集中している分野があり、全ての方のご希望に沿うことはできなかった。
- ・各分科会の進行状況はホームページ等で公開するほか、参加していない分科会の傍聴も可能であり、当初の分科会でお願ひしたいと考えている。

○参加者

- ・本会議のコーディネーターや事業者は現行の基本構想の策定と同じか。

○事務局

- ・現行の基本構想策定時とは異なる。

○参加者

- ・地域や年齢のバランスを考慮して参加者を選定したとのことだが、年齢別や地域別の参加者数の内訳を知りたい。

○事務局

- ・ご応募いただいた 208 人のうち、20 歳代が 13 人、30 歳代が 30 人、40 歳代が 29 人、50 歳代が 35 人、60 歳代が 67 人、70 歳代が 33 人、80 歳以上が 1 人であり、若い方からのご応募が少なかつたため、参加者の選定では年齢のバランスを考慮した。また、すべての地域の方からご応募いただいたが、参加者の選定にあたり地区のバランスも考慮した。

○参加者

- ・資料の中に片仮名の表現が多く、理解しづらいため、適切な日本語で表記してほしい。

○事務局

- ・可能な限り片仮名の表現を減らしたいと考えているが、まちづくりの分野ではワークショップといった表現は広く知られていると判断し、資料中に使用した。今後分かりやすい表現に努めたい。

○参加者

- ・事業者選定時の区の考え方はどのようなものか。

○事務局

- ・急速な人口増加や南部のまちづくり、本区の将来像に対しての考え方やその手法といった観点から、事業者を選定した。

○参加者

- ・各分科会には約30人が参加しているため、分科会での最終提言を1つにまとめることが難しいと思われるが、提言が複数となってもよいか。

○事務局

- ・分科会ごとの分野も広いため、1つの提言に集約できないこともあると考える。各分科会のコーディネーターと相談した上で取りまとめを行っていただきたい。

○参加者

- ・資料2には、本会議での検討結果が直接新基本構想に反映されるわけではないとあるが、本会議の提言が新基本構想にどの程度反映されるのか明確にしてほしい。

○事務局

- ・新基本構想の内容は基本構想審議会で議論することとしており、その前提として本会議での提言を活用させていただく。

※ 全体会終了後、各分科会に分かれグループ討議を行う。

江東未来会議
第2分科会（産業・生活分野）
第1回 議事概要

日時：平成19年9月26日（水）20:05～20:45

場所：江東区教育センター1階大研修室

参加人数：26人

1. 自己紹介

ーコーディネーターの深田氏より、本日の議論の進め方について説明がなされた後、参加者の氏名、お住まいの地域、関心分野等について自己紹介を行った。

【討 議】

○参加者

・コミュニティと生涯教育に興味がある。

○参加者

・自分に何ができるかという視点を大切にしたい。

○参加者

・男女共同参画、消費生活に関心がある。

○参加者

・臨海副都心を比べたとき、港区の方が人気は高く、企業立地も進んでいる。江東区もビッグな区になってほしい。

○参加者

・山登りやバードウォッチングに関心があり、江東区の自然を大切にしたい。グローバル企業に在籍していた折り、コミュニティや人間関係に苦労した経験がある。

○参加者

・江東区は高齢者が多いと思っていたが、大規模マンションの開発が進み、若い世代が増えている。高齢者と若い世代と一緒に住むことができるコミュニティが楽しいまちになっていけるよう主体的に関わっていききたい。

○参加者

・旅行が好きで観光に関心がある。江東区の観光名所などを開拓していきたい。

○参加者

・区内のコンピューター会社に勤務している在勤者である。シーサイドマラソンにもずっと参加しており、江東区と非常に親しい関係にあるので参加した。

○参加者

- ・散歩ができる水際都市であることと、鬼平犯科帳に関心があり、終の棲家に江東区東陽町を選んだ。マンションの老朽化と住民の高齢化の問題に取り組んでいる。

○参加者

- ・豊洲は発展しているが人のつながりが希薄な面がある。江東区の下町の人情あふれる良い面を、これから発展していくまちも含めて江東区全体に広めていければよい。

○参加者

- ・中国語を勉強しており、海外との交流や観光などの面で意見を言っていきたい。

○参加者

- ・最近、江東区に移り住んで終の棲家にしていきたいと考えている。新しいマンションにおけるコミュニティづくりに取り組んでいる。まち全体が、新たな開発と潤いの両者のバランスのとれた発展ができるとよい。

○参加者

- ・子育てサークルの活動をしている。江東区には10年住んでいるが、まだ住みやすいと言えない。住みやすいまちづくりを進めていきたい。

○参加者

- ・1970年から江東区に住み続けており、終の棲家となるだろう。観光エンターテイメントをつくりたい。

○参加者

- ・近年、人口は増加しているが、地元の企業や産業まで恩恵が至っていない。若い世代が増えてまちが変わりつつある中で、潜在力のある区内産業がまち全体の発展と調和をとりながら発展していく方向性について考えていきたい。

○参加者

- ・生涯健康スポーツ支援を掲げ、コミュニティのクラブハウスとして壮年のたまり場づくりに取り組んでいる。これまで仕事の関係上、区外との関係が強かったが、まちづくりコーディネーターの資格も持っているので、いろいろと提案していきたい。

○参加者

- ・文化財を通して、これからの江東区を考えてみたい。

○参加者

- ・いろいろなテーマに興味があるが、特に産業に注目している。区内の中小企業がより活性化すれば、江東区全体が発展する。区内産業の潜在力を活かせるような提案をしていきたい。

○参加者

- ・区内在住の在勤者でもある。江東区には住み始めて4年目である。周囲の開発は進んでいるが、まだ文化的な生活にはもの足りなさを感じている。住みやすく働きやすい地域

づくりに貢献していきたい。

○参加者

・江東区に住んで2年目である。江東区は緑と水が多く気に入っている。江東区の役に立てればと思い参加した。

○参加者

・都立木場公園でプレイパークをつくる活動を行っている。プレイパークは冒険遊び場だが、子どもだけでなく多様な世代が関わることで、新しいコミュニティ形成の可能性を持っている。さまざまな世代の方と議論していきたい。

○参加者

・江東区に60年住んでいる。新しい住民も増えており、また、区外の方も多く江東区に来ている。多くの方に愛着心を持ってもらえる江東区の姿について考えていきたい。

○参加者

・自転車エコライフ、屋上菜園など、環境ボランティア活動を行っている。江東区が観光立国として食っていくために何かしたいと考え参加した。

○参加者

・商店街の理事長をしている。区内には約50の商店街があるが、10の大型店舗が区全体の売上高の7割を占めている。商店街の衰退を踏まえ、地域とともにある商店街を基本構想に反映していきたい。

○参加者

・民生委員を10年以上やっているが、ひきこもりの老人に関する情報などが個人情報保護のため公開できなくなり矛盾を感じている。地域のまち歩きや史跡巡りなどいくつかの提案を持っているので参加した。

○参加者

・江東区を自転車でもわると、東西南北面白いエリアが多くあるので、もっとアピールできると面白いまちになる。

○参加者

・時間的な余裕ができたこともあり参加した。さまざまな意見を聞いて勉強していきたい。

○参加者

・江東区では、隣接しているのに生徒数などに差がある中学校がみられるので、何とかしたいと思い参加した。生涯学習の面でお役に立てると考えている。

○参加者

・江東区の歴史・文化・町並みに関心があるが、豊洲、東雲、有明のまちづくりをみると、ほとんど地域の歴史や文化に関係なく進められている。歴史や文化に根付くまちづくりをどのように進めていけばよいのか考えていきたい。

2. その他

ー第2・4・5回の日程調整を行い、開催候補日を以下の通り決定した。

<次回以降のスケジュール調整結果>

第2回 第1候補：10月17日（水）19:00～21:00

第3回 第1候補：11月7日（水）19:00～21:00、第2候補：11月5日（月）

第5回 第1候補：12月19日（水）19:00～21:00、第2候補：12月12日（水）

※後日、いずれも第一候補の日程で会議を開催することに決定。

(以上)

基本構想の位置づけについて～基本構想とは？～

1. 基本構想とは

基本構想は、区が目指す将来の望ましい姿（将来像）を描くものです。江東区では概ね10年ごとに策定しています。

区が策定する様々な計画や事業は、すべて基本構想をもとに実施され、区政運営の最高指針となるものです。

基本構想は、地方自治法に基づき、議会の議決を経て区が策定します。

■地方自治法第2条第4項

市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行なうようにしなければならない。

■地方自治法第281条第3項

第二条第四項の規定は、特別区[※]について準用する。

※特別区＝東京23区

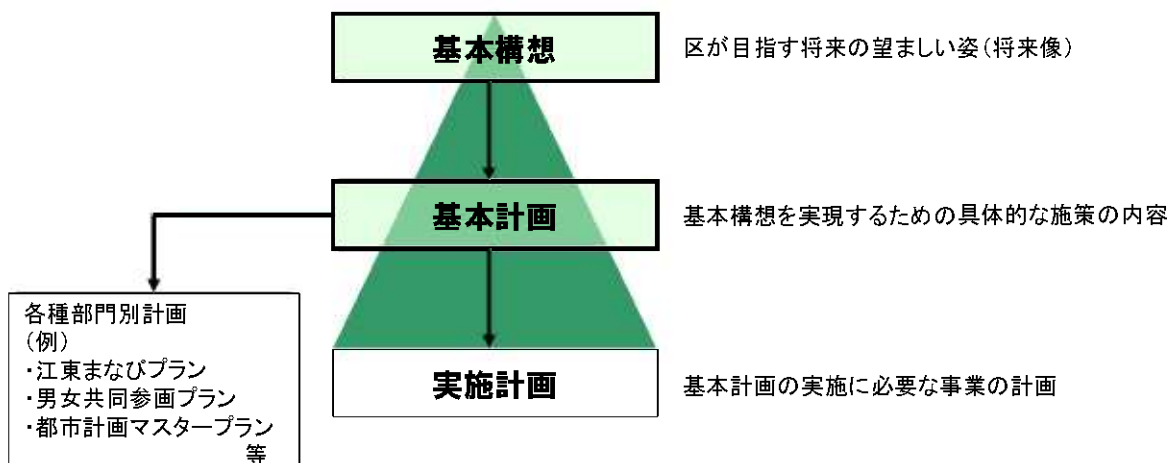
2. 基本計画とは

基本計画は、基本構想を実現するための具体的な施策の内容を体系的に示すものです。

基本計画は、各種の部門計画の上位計画であり、部門計画の守備範囲、重点方向を調整する際の指針となります。

3. 計画の体系

現在、多くの自治体は、基本構想－基本計画－実施計画という三層構造を採用しており、江東区もそのひとつです。



江東未来会議 第2分科会
第2回ワークショップ進行表

時間	項目	内容
19:00	開会	
19:00～19:05 (5分)	配布資料確認 基本構想の位置づけ～基本構想とは？～	配布資料・前回の議事録の確認等事務連絡、これから提言を行う基本構想はどのようなものなのか、区の他の政策・計画との関係などを事務局から簡単に説明します。
19:05～19:15 (10分)	今日の進め方	今日のプログラム、ワークショップの進め方をコーディネーターから説明します。
19:15～19:50 (35分)	ワークショップ①江東区のイメージ～江東区を紹介しよう～	★個人が持っている江東区の特徴・イメージを抽出し、共有します 【課題】 江東区をまったく知らない人に江東区を紹介することになりました。あなたならどんな紹介をしますか？
19:50～20:00 (10分)	ワークショップ①発表	各グループのディスカッションの結果を発表し、質疑応答を行います。(発表:1グループ3分程度)
20:00～20:10 (10分)	休憩	
20:10～20:40 (30分)	ワークショップ②10年後の江東区を描く～10年後に紹介したい江東区とは？～	★10年後のあってほしい江東区の姿を描き、共有します 【課題】 10年後も江東区民(在住または在勤)として生活しているあなた。10年前と同じように、まったく江東区を知らない人に江東区を紹介することになりました。そのときどんな紹介ができる区になってほしいと思いますか？
20:40～20:50 (10分)	ワークショップ②発表	各グループのディスカッションの結果を発表し、質疑応答を行います。(発表:1グループ3分程度)
20:50～21:00 (10分)	全体まとめ 次回以降の進め方	全体をまとめた後、今後の進め方・テーマについて協議し、合意します。
21:00	閉会	

ワークショップ手順 ★3 グループに分かれて行います

【共通ルール】

- ・時間は有限であることを認識しましょう
- ・年齢や肩書きに関係なくお互いを「さん」づけで呼び合しましょう
- ・参加者の自由な発想を尊重しましょう
- ・時間内に全員が十分に発言・ディスカッションできるようにしましょう
- ・区全体の視点で考えましょう
- ・少数意見を尊重しつつ、常に合意形成に努めましょう
- ・一度合意した内容は最大限に尊重し、共有しましょう

【付箋の使い方】

- ・付箋は1枚につき1項目とし、複数の項目に話がまたがる場合は付箋を分けて記入しましょう
- ・読みやすいように大きな字で簡潔に記入しましょう
- ・簡条書きのようにポイントがわかる記入を心がけましょう
- ・もう少し詳しい説明は口頭で行いましょう
- ・付箋は捨てずに全て模造紙に添付しましょう(同じような意見でも、付箋を重ねるなり傍に貼るなりしてください)
- ・ディスカッションの中で出てきた新しいアイデアや考え方は新しい付箋として追加しましょう
- ・付箋の色分けは以下のようにしましょう 黄色→お勧めポイント・まちの自慢 ピンク→困っていること・こうなったらいいな 緑→その他こぼれ話・私の体験談

【共通手順】

1. くじ引きで発表者を決定します
2. 話し合う前に、各自が付箋に記入します(黄色→お勧めポイント・まちの自慢 ピンク→困っていること・こうなったらいいな 緑→その他こぼれ話・私の体験談)
3. 簡単に自己紹介しながら付箋の中から1人1枚を順番に発表していき、全員終わるまで一回りします(当該付箋を模造紙のフリースペースに出しながら発表し、発表していない付箋は手元に残しておきます)
4. 似たような内容・イメージの付箋は近くに貼っていきます
5. 付箋のなくなった人は飛ばしながら付箋の発表を2巡、3巡と繰り返していき、全員の付箋がなくなるまで行います
6. 全員で話し合いながら、共通するキーワード(3~5)をまとめます(なぜそのキーワードになったのか?も含めて)。付箋を動かしたりマジックで書き込んだり模造紙のフリースペースを自由に使ってください。
7. 合意したキーワード(3~5)と、なぜそのキーワードとなったのか、その理由、少数ではあっても残したい意見やキーワードにはならなかったけれど大切にしたい意見をそれぞれ模造紙に清書します
8. グループ名やメンバーを模造紙に記入します(手順2~8の中で好きなときに記入してください)

【発表内容 1グループ3分】

- ・合意したキーワードとその理由
- ・少数ではあるが、ぜひ発表しておきたい付箋(1~3枚程度)

【グループ完成イメージ・記入例】

課題シート1 江東区のイメージ～江東区を紹介しよう～



① みんなの意見を貼り出しながら、このスペースを自由に使ってディスカッション。出された意見やアイデアはすべて付箋に記入し、貼っておく（捨てないこと）

グループ名とメンバーを書き込んで、発表者はまるで囲む

必要ならマジックで直接模造紙に書き込んでもOK!

= 付箋

② 合意したキーワード（3～5）とその理由を記入

合意したキーワード(3～5)	理由
① ○□×△○
② ×○△×○□
③ ◇☆○□×
④ ☆○□×◇□
⑤	
残しておきたい意見	○○○○、××××

③ キーワードとは別に少数でも残しておきたい意見、大事な意見をここに記入

第2分科会スケジュールの概要

3月の発表会に向けて、次のような進行スケジュールを想定しています。ただし、会議の進行状況等に応じて、参加者の皆さんと協議の上、進め方については柔軟に対応していきたいと考えております。

回	検討事項	運営方法
第1回 (9/26)	<ul style="list-style-type: none"> ★ガイダンス ★自己紹介 	前半(30分)は、基本構想策定、及び江東未来会議のスケジュール・検討体制等に関するガイダンスを行います。後半(50分)は分科会に分かれて、メンバー間で自己紹介を行います。
第2回 (10/17)	<ul style="list-style-type: none"> ★基本構想の位置づけ・他の計画との関係を知る ★江東区の特徴とイメージの抽出・共有 ★10年後のありたい江東区を描く 	基本構想の位置づけ・他の計画との関係について事務局から簡単にガイダンスを行います。その後3つのグループに分かれてワークショップを行い、①個人が持っている江東区の特徴・イメージ②10年後のあってほしい江東区の姿を抽出し、各自の関心や問題意識と、グループで共通するキーワードを共有します。
第3回 (11/7)	<ul style="list-style-type: none"> ★基本構想の構成を知る ★現在の基本構想と現状、前回描いた将来像とを比較する ★将来像を実現するための現状と課題の抽出・整理 ★課題の優先順位付けと、分科会で主に取り組むテーマの選定 ★見学すべき施設の選定、見学会の行程の決定 	現在の基本構想の構成を簡単にコーディネーターから説明し、目標・将来像→実現のための方針→具体的な計画が基本構想とそれに基づく計画にどのように位置づけられているのかを認識します。そのうち「産業と生活」に関連した事項を読み込み、現在の江東区及び前回描いた将来像と比較します。さらにそれを踏まえて、自分たちが描いた将来像の実現のためには何が必要なのか、障害となる(すでに障害となっていること、将来障害となりえること)ことは何か、課題を抽出・整理し、その中から分科会として取り組む柱となるテーマ(3~4)を選定します。また、選定テーマについて、見学すべき区内施設等を検討し、次回見学会の行程等を検討します。
第4回 (11月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ★施設見学会 	週末半日程度を利用し見学会を実施します。見学会は各グループの関心に基づき、まち歩きを通じた生活実感に基づく発想や提案が促進されるよう、徒歩と公共交通移動を原則としてグループ単位で実施します。
第5回 (12/19)	<ul style="list-style-type: none"> ★施設見学会のまとめ ★最終的に提出する取りまとめのイメージの共有 ★グループ(選定したテーマ)ごとの提案の方向性・項目の抽出・整理・共有 	<p>前回の施設見学会で得た情報・成果をまとめます。また、これまでの検討結果をとりまとめた資料を提示し、以下の項目内容の拡充を図り、グループとしての提言の方向性を明確にします。また、提言書の目次構成・フォーマットを提示しとりまとめのイメージを共有します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現状および問題認識 ○江東区が目指すべき将来都市像とまちづくりの方向性 ○区民と行政の役割分担や協働のあり方 ○将来都市像を実現するためのアイデア事業

<p>第6回 (1月 下旬)</p>	<p>★グループ(選定したテーマ)ごとの提言書のとりまとめ</p>	<p>グループごとの提言書のとりまとめを行います。とりまとめにあたっては、新基本構想の検討に活用され、反映されることが期待できる内容、構成とし、読み手に区民の生き生きとしたアイデア、熱意が伝わる内容、また、その後続く基本構想策定への区民の関心を促進させるツールとして活用可能な内容とします。</p>
<p>第7回 (2月 下旬)</p>	<p>★第2分科会提言書とりまとめと最終確認</p>	<p>各グループの提言書を合冊した区民提言書の最終確認を行うとともに、発表会の運営シナリオの確認や、発表会のパネラーなどの分担等について検討します。</p>
<p>3月</p>	<p>発表会</p>	<p><進行(案)>全体 2 時間 30 分、場所:江東区文化センター(仮) ①提言の説明(20分) ②提言内容に関するパネルディスカッション(60分)(休憩 10分) ※パネルディスカッションの間に会場出席者から意見・質問用紙を募り、休憩時間中に整理する ③フロアトーク(パネラーと聴衆との意見交換)(60分)</p>